



鈴木秀治 教授

◆経 歴

- 1948年 2月 東京都台東区生
- 1972年 3月 東京大学文学部卒業
- 1974年 3月 東京大学大学院人文科学研究科修士課程修了（修士学位取得）
- 1979年 3月 東京大学大学院人文科学研究科博士課程修了
- 1979年 4月 愛知大学教養部講師
- 1987年 4月 愛知大学教養部助教授
- 2006年 4月 愛知大学国際コミュニケーション学部教授 現在に至る

教育研究業績書

著書、学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌又は 発表学会等の名称
(著書)			
1. 『講座・夏目漱石 第4巻—漱石の時代と社会—』	共著	1982年2月	有斐閣
2. 『外国人による日本論の名著』	共著	1987年3月	中央公論社
3. 『叢書比較文学比較文化4 東西の思想闘争』	共著	1994年4月	中央公論社
(学術論文)			
1. 「大正知識人の命運—大杉栄の場合—」	単著	1975年11月	東大比較文学会『比較文学研究』28
2. 「創造性は教育できるか—1989年度教養演習F 顛末記—」	単著	1990年5月	愛知大学教養部『一般教育論集』第3号
3. 「芥川龍之介『開化の良人』を読む—ブラウニング・漱石—」	単著	1991年3月	愛知大学文学会『文学論叢』第96輯
4. 「芥川龍之介とジュール・ルナール」	単著	1991年7月	愛知大学文学会『文学論叢』第97輯
5. 「P. ロチ『秋の日本』—秋の日本各地の風物を求める」	単著	1995年5月	至文堂『国文学解釈と鑑賞』第60巻第5号
6. 「木下杢太郎の欧米体験(1)」	単著	2003年11月	愛知大学国際コミュニケーション学会『文明21』第11号
7. 「木下杢太郎の欧米体験(2)」	単著	2005年3月	愛知大学国際コミュニケーション学会『文明21』第14号
8. 「木下杢太郎の欧米体験(3)」	単著	2008年9月	愛知大学国際コミュニケーション学会『文明21』第21号
9. 「木下杢太郎の欧米体験(4)」	単著	2011年10月	愛知大学国際コミュニケーション学会『文明21』第27号
10. 「木下杢太郎の欧米体験(5)」	単著	2012年3月	愛知大学国際コミュニケーション学会『文明21』第28号
(翻訳)			
1. ジャック・サドゥール『現代SFの歴史』	共訳	1984年12月	早川書房
2. ピエール・ダルモン『医者と殺人者—ロンブローゾと生来性犯罪者伝説』	単訳	1992年5月	新評論
3. ピエール・ダルモン『癌の歴史』	共訳	1997年11月	新評論
(書評)			
1. 「平川祐弘著『夏目漱石—非西洋の苦闘』」	単著	1977年6月	東大比較文学会『比較文学研究』31
2. 「F・G・ノートヘルファー著『幸徳秋水—日本の急進主義者の肖像』」	単著	1982年3月	東大比較文学会『比較文学研究』41
3. 「饗庭孝男他編『フランスの文学—〈知〉の新しい地平から』」	単著	1984年8月	三修社『基礎フランス語』1984年8月号

著書，学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所，発表雑誌又は 発表学会等の名称
(辞典)			
1. 『小学館ロベール仏和大辞典』	共著	1988年12月	小学館
2. 『新潮日本人名辞典』	共著	1991年3月	新潮社
3. 『精神医学文献事典』	共著	2003年5月	弘文堂
(その他)			
1. 「映画『モーリス』を論じて少女マンガ『日出処の天子』に及ぶ」	単著	1998年1月	愛知大学国際コミュニケーション学会『文明21』創刊準備号
2. 「Japanology について」	単著	2003年6月	愛知大学図書館『韋編』No. 27
3. 「個人的なあまりにも個人的なフランス文学体験—知られざる作家リラダン」	単著	2006年10月	愛知大学豊橋語学教育研究室『LLニュース』No. 33
4. 「フランスの浮世絵師—アンリ・リヴィエール」	単著	2009年10月	愛知大学豊橋語学教育研究室『LLニュース』No. 39
5. 「『海は燃えている—イタリア最南端の小さな島』(2016年、伊仏共作)を観る」	単著	2017年7月	愛知大学語学教育研究室『Aichi University Lingua』